

Creating Life of Your Dreams

～ 半歩先の技術で人々の生活を豊かに ～

2023年8月期 決算説明資料

株式会社**ヴィッツ**

(東証スタンダード 4440)

2023年10月

会社概要

会社名	株式会社ヴィッツ
設立	1997年6月11日
代表取締役	社長 服部博行
本社所在地	名古屋市中区栄 3-3-21 セントライズ栄 6F
事業拠点	名古屋、札幌、大阪、東京、長野、沖縄
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・制御ソフトウェアエンジニアリングサービス・自動運転/先進安全向けシミュレーション技術による開発支援・組込セキュリティサービス
資本金	6億12百万円（2023年8月末時点）
連結売上高	25億01百万円（2023年8月度）
連結営業利益	1億87百万円（2023年8月度）
連結従業員数	216名（2023年8月度）
子会社	(株) アトリエ、(株) ヴィッツ沖縄、(株) イマジナリー、(株) スクデット・ソフトウェア
主要取引先	アイシン・ソフトウェア(株)、トヨタ自動車(株)、レーザーテック(株)、オークマ(株)

アジェンダ

1 2023年8月期 業績報告

2 2024年8月期 業績見通し

2023年8月期 決算概要

【売上高】

2,501 百万円

前期比 107%
通期予想比 100%

組込みソフトウェアの技術分野が好調であり、自動車向けの売上が大きく伸びた他、半導体関連装置を含む産業機械向けの売上也堅調に推移しました。加えて、前第3四半期連結会計期間においてスクデット社を新たに連結子会社とした影響もあり、前期比増収となりました。

通期予想に対しては、おおむね計画通りに推移しました。

【売上総利益】

892 百万円

前期比 101%

売上が増収となったものの、増収に向けて外部リソースの活用割合を増加させた他、給与水準の引き上げ等を行った影響により売上総利益率が低下し、前期比微増に留まりました。

売上総利益率は前期37.8%から当期35.7%へ2.1ポイント低下しました。

【営業利益】

187 百万円

前期比 79%
通期予想比 117%

給与水準の引き上げ、新規事業の推進、事業の拡大、営業活動の強化などに向けた人員の増強や拠点の整備、コロナ関連の制限緩和による出張経費の増加、人材確保に向けた採用関連コストの増加、スクデット社に係る販管費やのれん償却費の増加等により販管費が増加した結果、前期比減益となりました。

通期予想に対しては、広告宣伝費や研究費等の販管費を大きく削減できたため、計画値を上回りました。

2023年8月期 連結業績（前期比）

単位：百万円	2022年8月期 (累計期間)	2023年8月期 (累計期間)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	2,345	2,501	156	6.7%
売上原価	1,458	1,609	150	10.3%
売上総利益	887	892	5	0.6%
売上総利益率	37.8%	35.7%	—	—
販売費及び一般管理費	650	705	54	8.4%
うち、人件費	267	325	58	22.0%
うち、採用教育費	32	52	20	63.1%
うち、支払報酬料	57	30	△26	△46.5%
営業利益	236	187	△49	△20.9%
営業利益率	10.1%	7.5%	—	—
経常利益	265	224	△40	△15.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	175	133	△42	△24.1%

給与水準の引き上げ、新規事業の推進、事業の拡大、営業活動の強化などに向けた人員の増強等により、増加しております。

社員教育および人材確保に向けた採用関連コストによる増加であります。

前期は、スクデット社買収に係る取得関連費用が発生したため、相対的に減少しております。

2023年8月期 連結業績 (通期予想に対する達成率)

単位：百万円	2023年8月期 通期 業績予想	2023年8月期 通期実績	達成率
売上高	2,500	2,501	100.1%
営業利益	160	187	117.0%
営業利益率	6.4%	7.5%	—
経常利益	190	224	118.4%
経常利益率	7.6%	9.0%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	125	133	106.8%

サービスデザイン事業の進捗が当初予想と比べて芳しくありませんでしたが、組込みソフトウェアの技術分野が好調であり、自動車向けの売上が大きく伸びた他、半導体関連装置を含む産業機械向けの売上也堅調に推移した結果、概ね計画通りとなりました。

計画していた展示会の出展、研究活動費が削減できたため、当初計画よりも販管費が大きく減少し営業利益の達成率は117%となりました。

主に営業利益が当初計画を上回った影響の他、研究の補助金収入が当初計画を上回ったこと等により経常利益の達成率は118.4%となりました。

2023年8月期 連結売上高 (セグメント別)

ソフトウェア開発事業は組込みソフトウェアの技術分野（主に自動車及び半導体関連）が売上増をけん引しました。

サービスデザイン事業はブロックチェーン技術の事業化が伸展せず計画比大幅減となりました。

単位：百万円

セグメント	2023/8期 通期実績			2023/8期 通期予想	
		構成比	対予想比 達成率		構成比
ソフトウェア 開発事業	2,380	95.2%	103.4%	2,302	92.1%
サービス デザイン事業	64	2.6%	51.6%	125	5.0%
その他	56	2.3%	79.5%	71	2.8%
合計	2,501	100.0%	100.1%	2,500	100.0%

2023年8月期 連結貸借対照表

単位：百万円	2022年8月期	2023年8月期	前期末比	
			増減額	増減率
流動資産	2,389	2,256	△132	△5.5%
固定資産	466	666	200	43.0%
流動負債	315	350	35	11.3%
固定負債	244	260	16	6.7%
純資産	2,295	2,311	15	0.7%
総資産	2,855	2,923	67	2.4%
現金及び預金	2,058	1,918	△140	△6.8%
自己資本比率	79.5%	78.1%	△1.4pt	—

現金及び預金の減少（△140百万円）
 主な要因：自己株式及び投資有価証券の取得による支出

投資有価証券の増加（+199百万円）
 2022年8月期末：2百万円
 2023年8月期末：201百万円

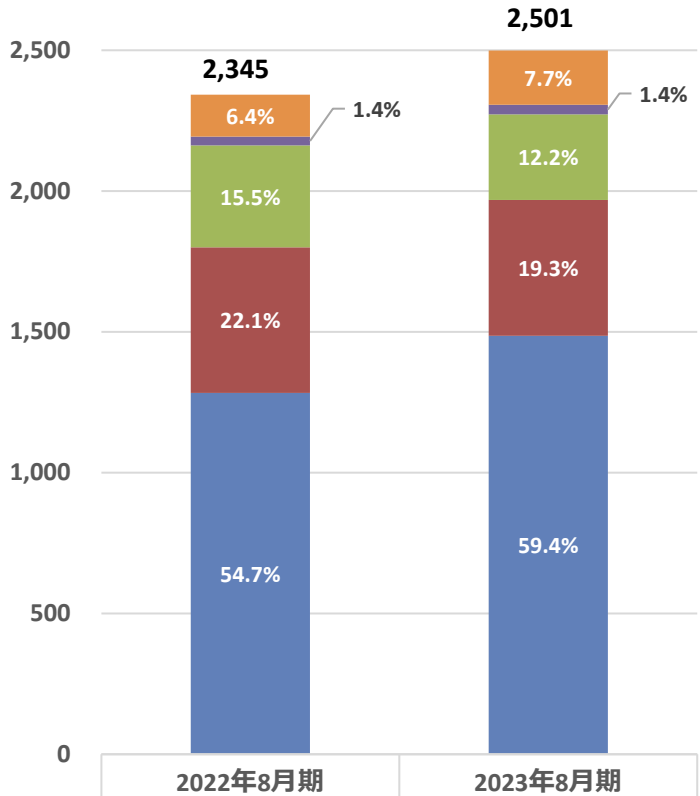
利益剰余金の増加（+100百万円）
 2022年8月期末：1,112百万円
 2023年8月期末：1,212百万円
 主な要因：当連結会計年度の利益による増加

自己株式の増加（△88百万円）
 2022年8月期末：△0百万円
 2023年8月期末：△88百万円

売上実績比較（2022年－2023年） 技術分野

単位：百万円

技術分野別比較



技術分野	2022年8月期	2023年8月期
■ その他	149	193
■ コンテンツ	31	34
■ Security & Safety	362	304
■ シミュレータ・仮想空間	517	482
■ 組み込みソフトウェア	1,283	1,486

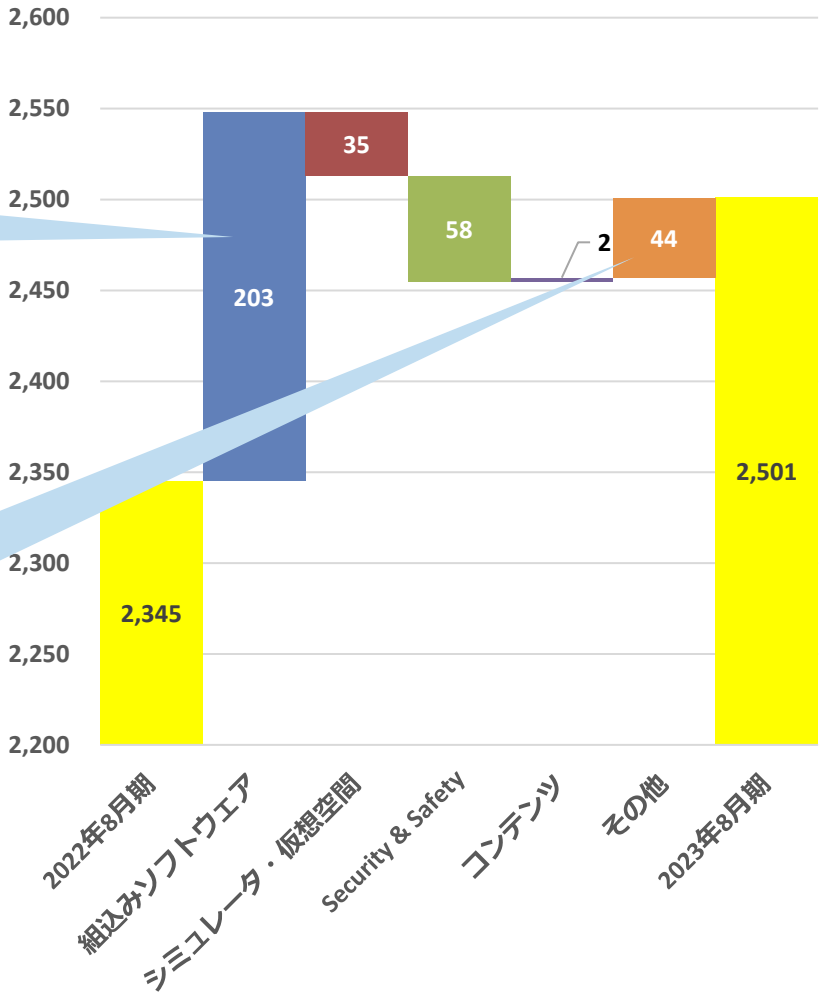
自動車関係の組み込みソフトウェア（プラットフォーム開発）が昨年度と比較して大幅に増加

前第3四半期連結会計期間にスクデット社を新たに連結子会社化としたことによる増加

単位：百万円

技術分野別売上実績比較

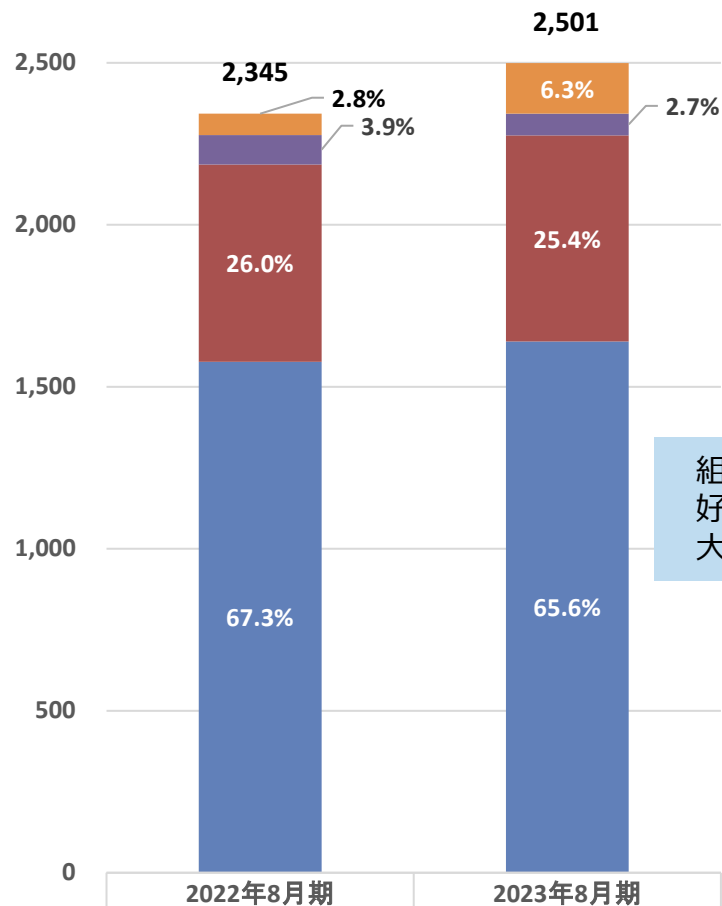
2022年8月期－2023年8月期



売上実績比較（2022年－2023年） 産業分野

単位：百万円

産業分野別比較



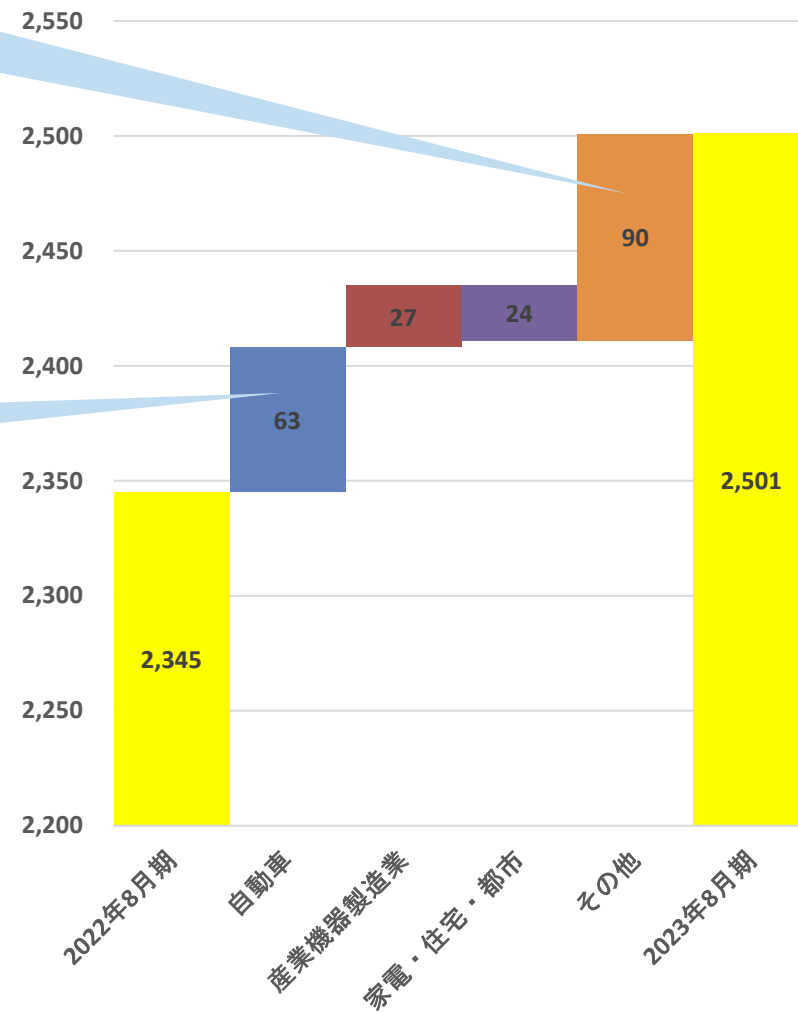
前第3四半期連結会計期間にスクデット社を新たに連結子会社化したことによる増加

組込みソフトウェアの技術分野が好調であり、自動車向けの売上が大きく増加

単位：百万円

産業分野別売上実績比較

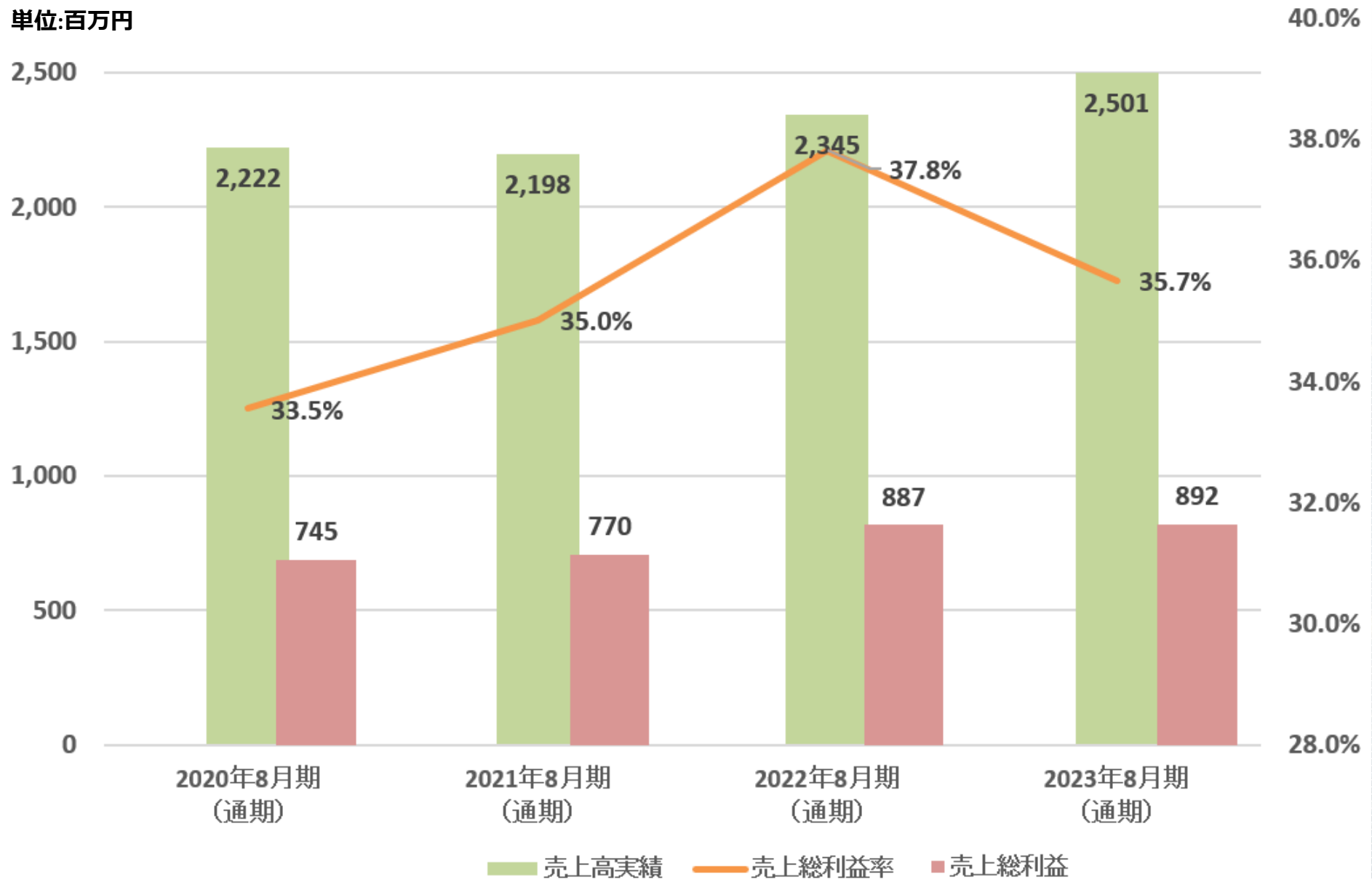
2022年8月期－2023年8月期



	2022年8月期	2023年8月期
■ その他	66	156
■ 家電・住宅・都市	91	67
■ 産業機器製造業	609	636
■ 自動車	1,577	1,640

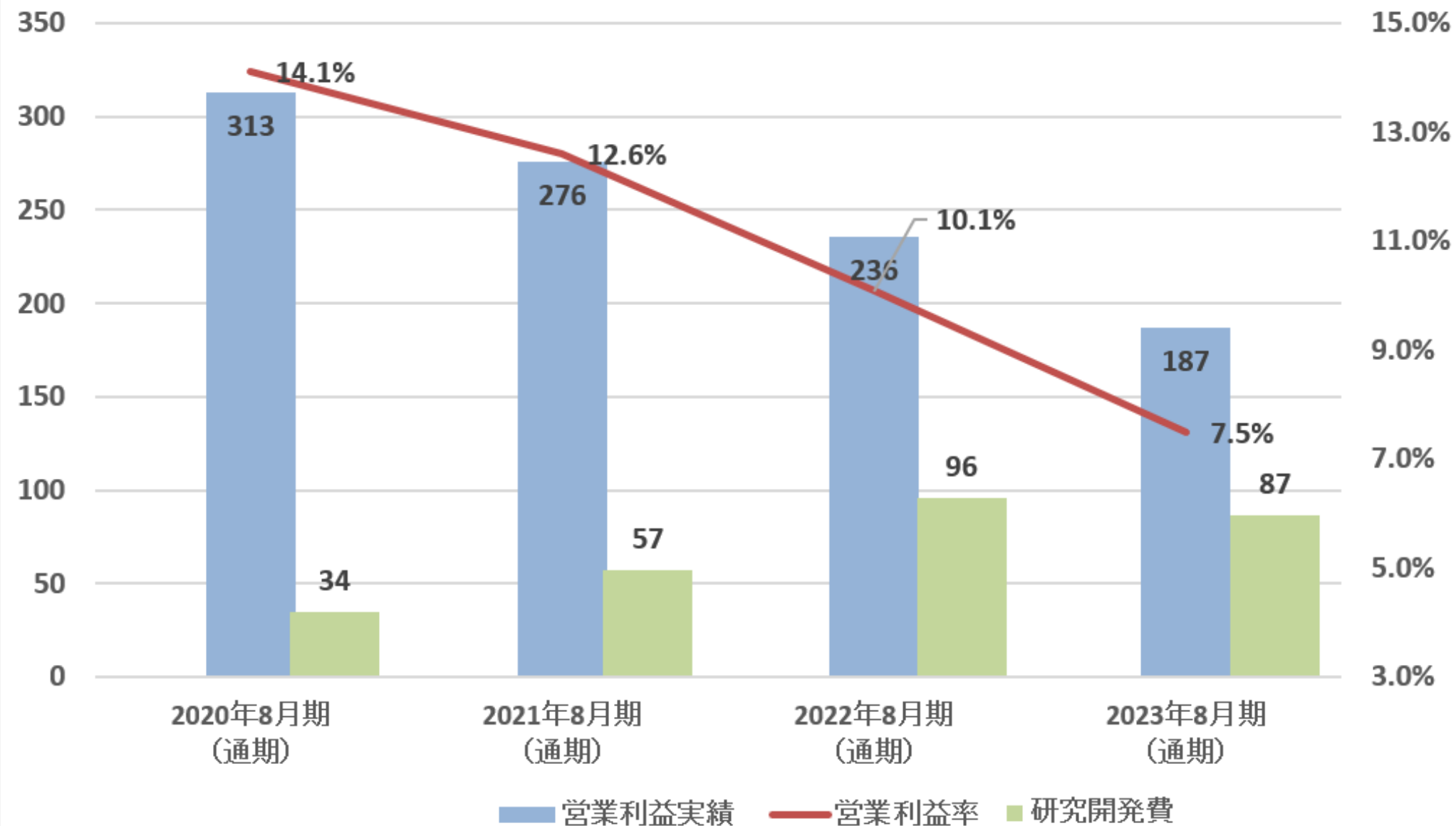
2023年8月期 連結売上高／売上総利益

単位:百万円



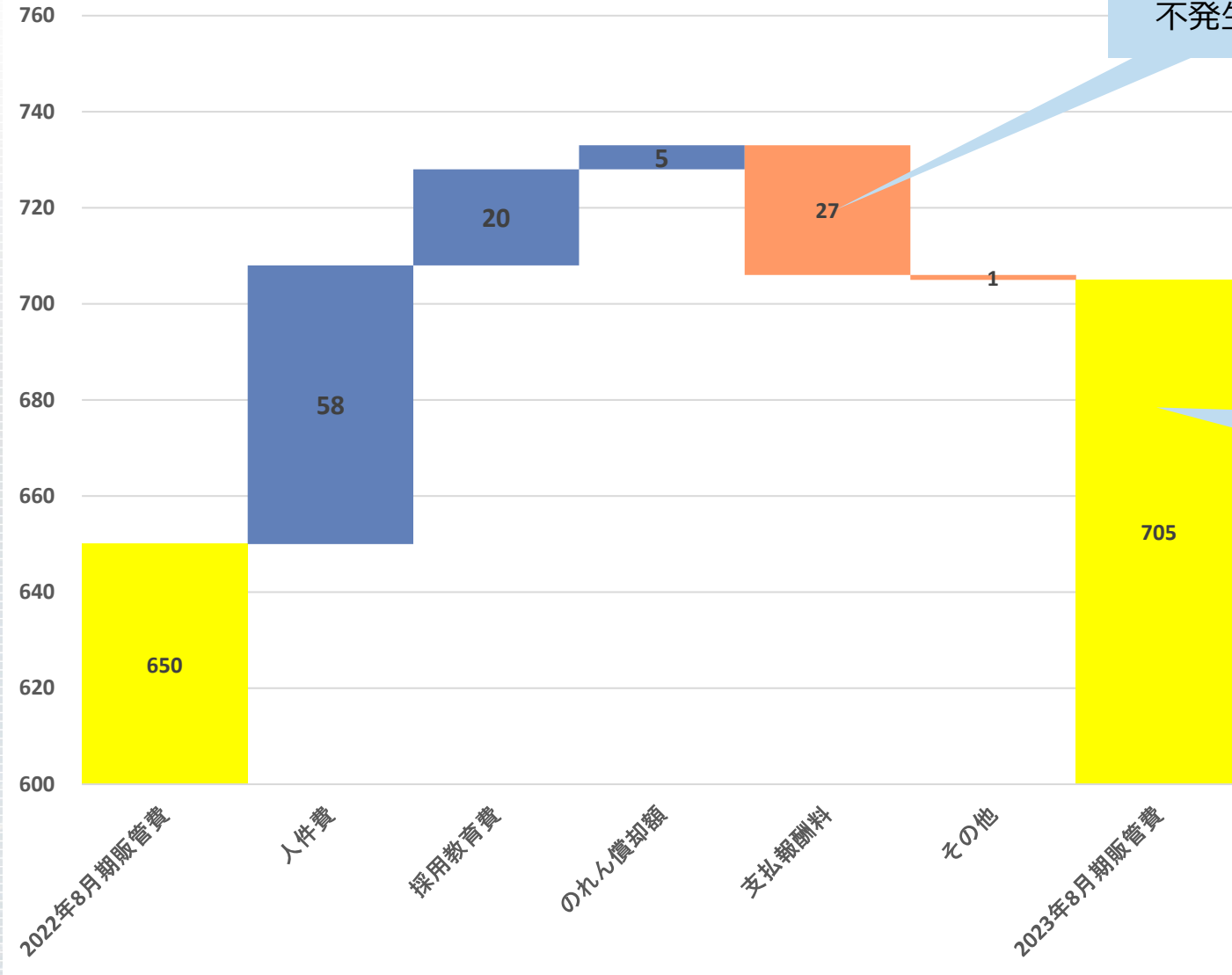
営業利益推移

単位:百万円



販売費及び一般管理費実績比較（2022年－2023年）

単位:百万円

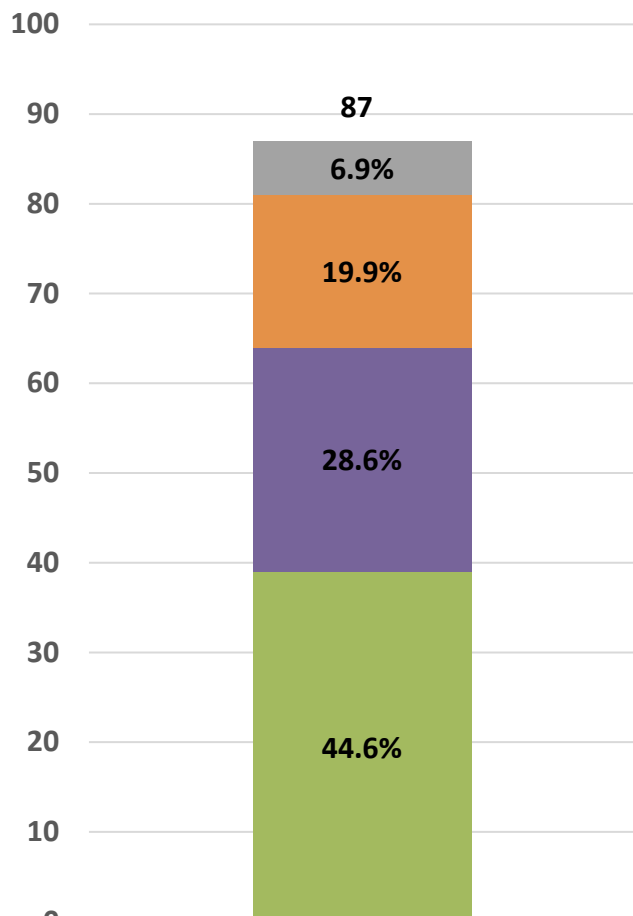


前期に発生した株式取得関連費用の不発生による減少

新規事業の推進、事業の拡大、営業活動の強化などに向けた人員の増強や拠点の整備、給与水準の引き上げ、社員教育および人材確保に向けた採用関連コストの増加、スクデット社に係る販管費やのれん償却費の増加等により販管費が54百万円増加

研究開発費内訳

単位:百万円



2023年8月期

■ その他	6
■ 仮想空間技術	17
■ ブロックチェーン	25
■ HMCES	39

当社の研究投資は大きく3つの分野に投資しました

- ①HMCES
- ②ブロックチェーン関連
- ③仮想空間技術

※HMCESは「Human-Machine Co-Evolution System」(人-機械の共進化システム)の頭文字となります。

■ HMCESは、2022年度から2024年度までの3年に渡り研究開発を実施します。

研究開発戦略として展開する、HMCESガイドライン、HMCESプラットフォームを活用したコンサルティング及び開発支援サービスの展開を計画しております。

■ ブロックチェーン関連投資は、当初計画したプラットフォーム開発は実現しましたが、サービス事業化の目処が立っておらず、開発継続を見合わせております。

■ 仮想空間技術は、製品・サービス事業化の目途が立ち始め回収フェーズに移行しつつありますが、引き続き製品の改善、サービスの向上に向けた研究投資を継続する予定です。

2023年8月期 連結売上総利益及び営業利益 (セグメント別)

ソフトウェア開発事業は、増収を達成しているものの今後の成長に向けた人財投資、拠点整備などの実施により利益率を落とし減益となっております。

サービスデザイン事業は、事業開始から間もなく投資段階ではありますが、デジタルツインや自律製品の安全性サービスなどが稼働し始めており増益となっております。

単位：百万円

セグメント	2023/8期			(ご参考) 2022/8期	
	売上総利益 営業利益	売上総利益率 営業利益率	対前年比 成長率	売上総利益 営業利益	売上総利益率 営業利益率
ソフトウェア 開発事業	789	33.2%	95.5%	826	36.4%
	686	28.8%	92.9%	738	32.5%
サービス デザイン事業	33	52.1%	—	1	2.6%
	△0	—	—	△34	—
その他	71	35.2%	111.5%	64	31.9%
	26	12.8%	125.7%	20	10.3%
合計	892	35.7%	100.6%	887	37.8%
	187	7.5%	79.1%	236	10.1%

※各セグメントにつきましては、連結相殺消去仕訳考慮前の売上総利益、売上総利益率、営業利益及び営業利益率を算出しております。

※合計値は連結損益計算書の数値で表示しております。

2023年8月期のトピック

ソフトウェア開発事業



半導体検査装置ソフトウェア開発

中長期的に成長見込まれ、受注増

サイバーセキュリティ法規関連ビジネス

コンテンツ/セミナーが好評、内容の拡充実施

車載ソフトウェア開発

主要顧客からの受注増、BEV開発の需要増

シミュレーション関連

従来車載分野は堅調、BEV、工場等での需要増

サービスデザイン事業



AI品質安全保証サービス

SEAMSガイドライン販売および支援サービスが順調に成長

SF Twin

「SF Twin™ Cobot」の販売開始

ブロックチェーン

プラットフォーム開発は完了。サービス事業化を検討

新規ビジネス 入退場管理システム TISIWIT ティジビット

Web3を見据えた個人情報保護しながら認証することを特徴に
イベントで活用されたが採算が見込めず、開発技術の他サービスへの活用を検討

研究開発



WARXSS(自動運転シミュレータ) : 「RoAD to the L4」 への継続的な成果供給を実施
SF Twin (製造業DX) : 製造業におけるロボットシミュレータ活用の可能性を推進
HMCES : 高度に進化した機械と人との共進関係について国際学会Safecompで発表

SXiM・MaaSは採算性に課題があり、開発技術の活用を検討

アジェンダ

1 2023年8月期 業績報告

2 2024年8月期 業績見通し

2024年8月期通期連結業績予想

【重点戦略】

- ①人的資本：人財の採用、リテンション、育成等
- ②技術力：技術開発、製品開発、開発の効率化等
- ③販売力：認知度向上、販売チャネル拡大、顧客との交渉力強化等

短期的な利益の追求ではなく中長期的な視点での企業価値向上に向けた積極的な活動及び投資を行ってまいります。

単位：百万円	2024/8期 (予想)				(ご参考) 2023/8期 (実績)	
	2024/8期 (予想)	利益率	前期増減額	前期増減率	2023/8期 (実績)	利益率
売上高	2,880	—	378	15.1%	2,501	—
営業利益	190	6.6%	2	1.5%	187	7.5%
経常利益	210	7.3%	△14	△6.6%	224	9.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	145	5.0%	11	8.6%	133	5.3%

2024年8月期活動概要（売上）



当社のコアビジネスである自動車や産業機械向けの組込ソフトウェア開発領域では、事業の拡大を計画しています。

- 提携戦略の強化
- サービスの全方位的展開

堅実な成長

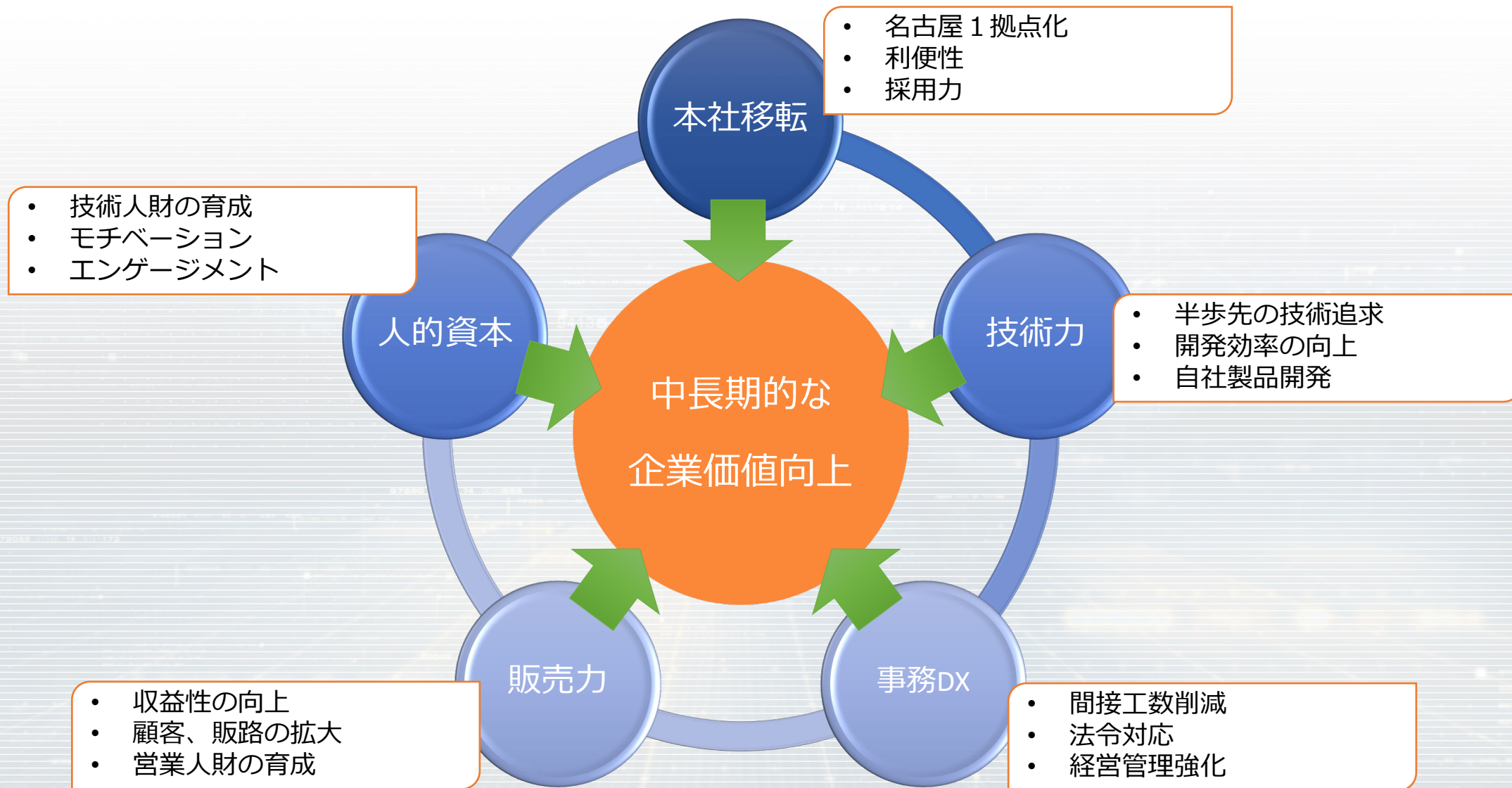


過去2期にわたり、sv事業では研究活動を中心に展開して参りました。
現在、この分野で得た知見と成果を基に、事業活動をさらに推進し、売上の増加を目指します。

- 仮想空間技術の商業化
- 先進的安全技術の推進

革新的な成長

2024年8月期活動概要（費用）



競争的資金によるAI浸透技術の研究活動

中小企業庁

令和4年度予算「成長型中小企業等研究開発支援事業」

機械の潜在能力を持続的に向上させる 共進化^{*}（Co-evolution）ガイドラインの研究開発

研究
期間

2022年－2024年
総額1.5億円

研究
内容

AIとの共栄と共存
を実現する方法論
の確立

社会的
意義

AIの品質を
保証し、生活の質を
向上させる

事業化
目途

2024年：ガイドラインの先行提供
2025年：コンサル、開発支援事業
2030年までに年間5億円の売上

※共進化ガイドライン：機械の潜在能力を持続的に向上させ、人のWell-being(満足度・生活の質)を向上させる仕組み

愛知県庁

「知の拠点あいち重点研究プロジェクトIV期」

IT・AI 技術を結集したスマートホスピタルの実現

研究
期間

2022年－2024年
総額1.5億円

研究
内容

専門領域向け
音声対話システム
の実現

社会的
意義

AIによる労働環境
の改善と情報精度
の向上

事業化
目途

2024年：音声対話システムの提供
2025年：医療分野外への技術提供
2030年までに年間3億円の売上



DXの日常化を支援する
デジタルツインソリューション

トピック

「協働ロボットパッケージの発売」



新規開発

協働ロボットの導入事前検討から、保守・運用まで
今まで「大変」だった作業を「スマート」にするパッケージ

協働ロボット導入増加に着目
簡単操作でデジタルツインを実現

<https://sf-twin.jp/>

事業展開

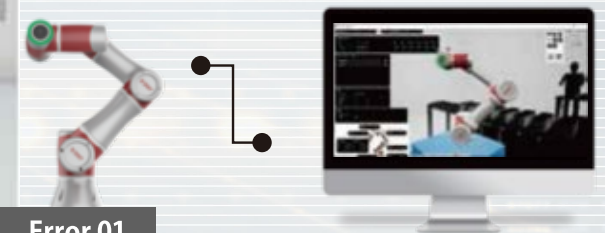
協働ロボットの対応機種追加と
自律搬送ロボットへ対応中

既存製品に無いUXを提供中

シミュレーション機能



リアルタイムモニタリング機能

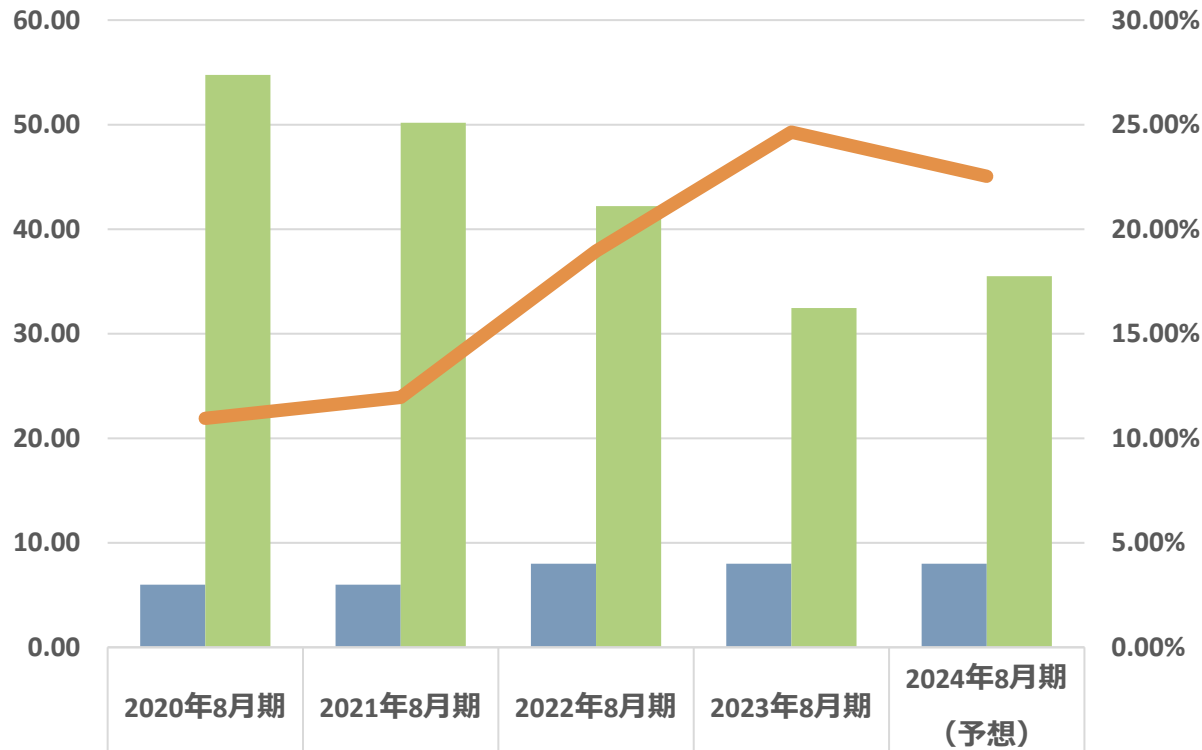


現場に行かなくても稼働状況
が分かる!見える!

配当金について

(単位：円)

配当金/EPS/配当性向推移



■ 一株当たり配当金	6.00	6.00	8.00	8.00	8.00
■ EPS	54.76	50.19	42.21	32.46	35.51
— 配当性向	10.96%	11.95%	18.95%	24.65%	22.53%

【利益配分に関する考え方】

- ① 財務基盤の安定化
- ② 安定的かつ継続的な配当
- ③ 内部留保による中長期的投資
(研究開発・事業拡大)

	2024年8月期 (予想)
1株当たり配当金	8.00円

当社は2018年11月1日付で普通株式1株につき1000株の割合、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2018年、2019年実績につきましては、当該分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った数値を記載しております。

本資料における注意事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の事業運営や環境の変化等の状況の変化により大幅に異なる可能性があります。

今後、新しい情報・事象の発生があった場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改定を行う義務を負うものではありません。

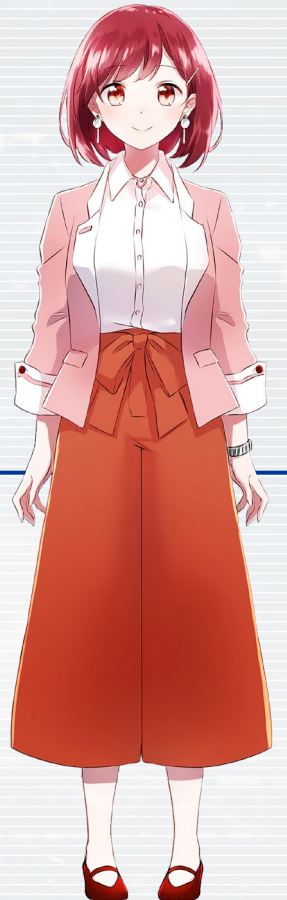
また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適正性等を保証するものではありません。

Creating Life of Your Dreams

～ 半歩先の技術で人々の生活を豊かに ～

株式会社ヴィッツ 会社説明資料

(東証スタンダード 4440)



アジェンダ

1 ヴィッツの概要

2 成長事業

Creating Life of Your Dreams

半歩先の技術で人々の生活を豊かに

Mission








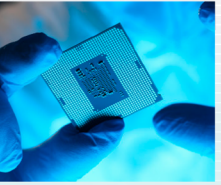

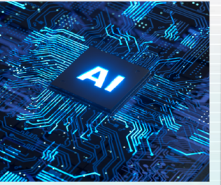
世の中のニーズを敏感に察知し、
半歩先のソフトウェア技術で解決する

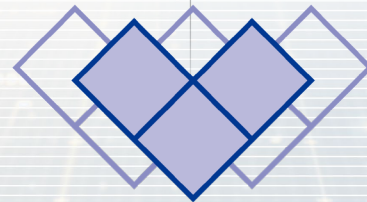
会社概要

会社名	株式会社ヴィッツ
設立	1997年6月11日
代表取締役	社長 服部博行
本社所在地	名古屋市中区栄 3-3-21 セントライズ栄 6F
事業拠点	名古屋、札幌、大阪、東京、長野、沖縄
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・制御ソフトウェアエンジニアリングサービス・自動運転/先進安全向けシミュレーション技術による開発支援・組込セキュリティサービス
資本金	6億12百万円（2023年8月末時点）
連結売上高	25億01百万円（2023年8月度）
連結営業利益	1億87百万円（2023年8月度）
連結従業員数	216名（2023年8月度）
子会社	(株) アトリエ、(株) ヴィッツ沖縄、(株) イマジナリー、(株) スクデット・ソフトウェア
主要取引先	アイシン・ソフトウェア(株)、トヨタ自動車(株)、レーザーテック(株)、オークマ(株)

ヴィッツの価値創造モデル

eトピック

																			
DVD プレーヤ 発売	ドコモ iモード	車の電子化加速 レクサス日本販売	スマートフォン 発売	エアバッグ問題	PC ロック 身代金被害	自動車の CASEを提唱	半導体不足	DX、オンライン が加速	生成AIの進化										
1996	1997	1998	1999	2000	2005	2002	2010	2008	2014	2014	2015	2016	2017	2019	2020	2020	2021	2020	2023
1997年 ソフトウェアが コンピュータ以外 にも普及すると 創業		デジタル家電開発		2000年 車載 シミュレーション 2004年 車載向け リアルタイム OS		高性能 LSI		機能安全 コンサルティング		セキュリティ研究		自動運転 AI 安全		半導体開発		MaaS、DX		AI の 品質安全保証	

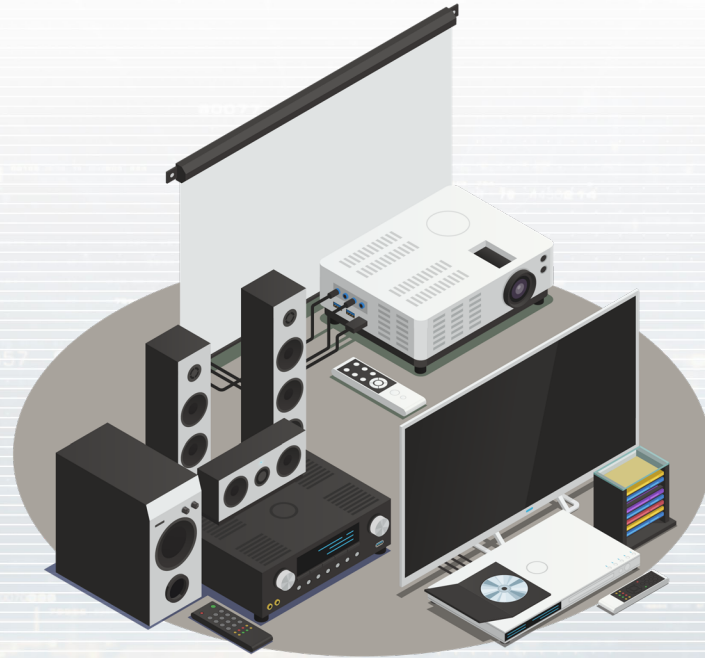


世の中のトレンドに先んじて研究開発、ノウハウ蓄積を行っている

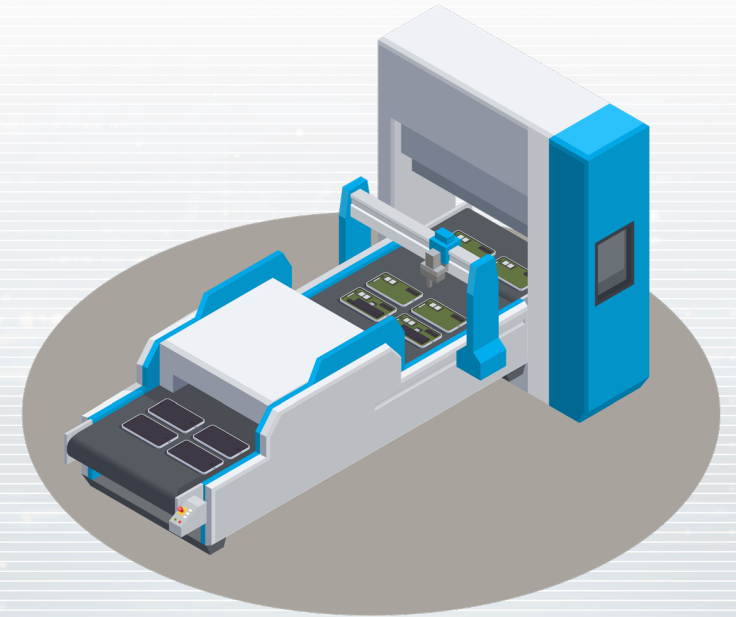
ヴィッツの技術が使われている製品イメージ



車



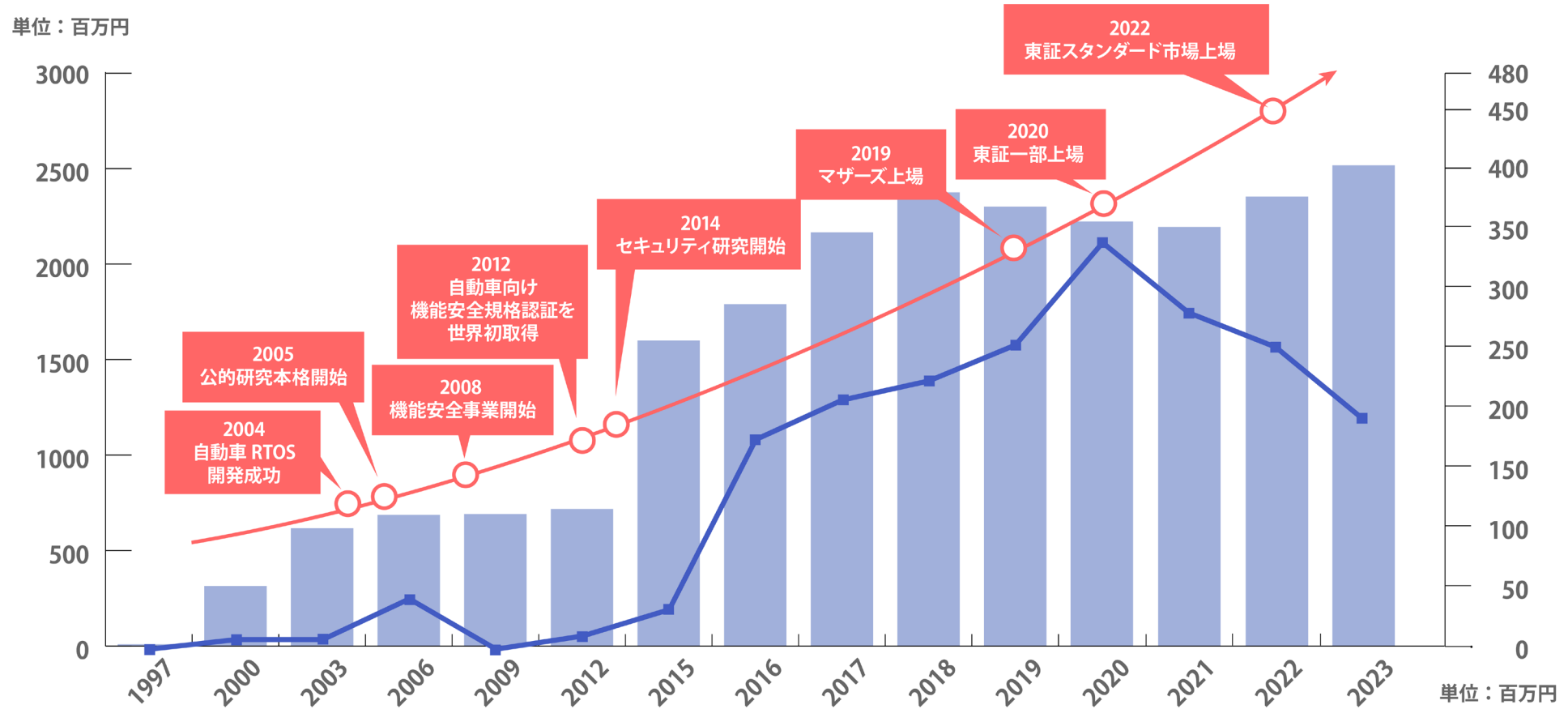
AV 家電



工作機械

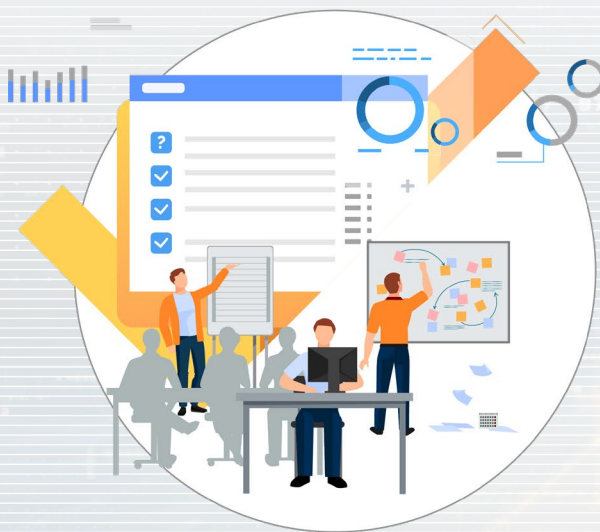
世の中のトレンドに先んじて研究開発、ノウハウ蓄積を行っている

ヴィッツの歩み/売上高及び営業利益の推移

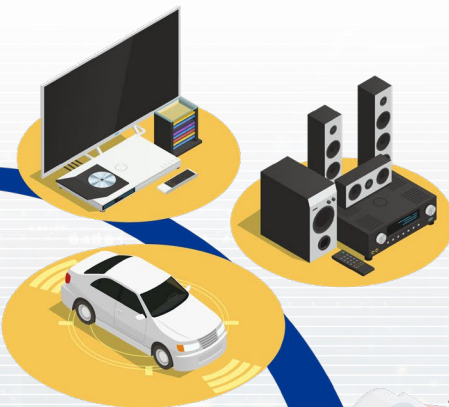


ヴィッツのビジネスモデル

研究開発



受託開発



コンサルテーション
/セキュリティ



サービス/コンテンツ



アジェンダ

1

ヴィッツの概要

2

成長事業

ヴィッツの成長事業領域

「技術」で「価値」を創る 事業創出



DXの日常化



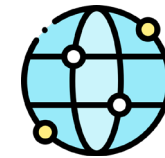
結果を確実に残す
仮想空間技術のパッケージ



手元に新技術



いつでもどこでも
最新技術を学習できる環境



世界を変える



SEAMS



HMCES

便利なサービスを実現する
高品質かつ安全なAIを創出

世界を変える

AIおよび自律的に活動する機械との共存、共栄、共進化を推進



SEAMS

中小企業庁 平成29年度 戦略的基盤技術高度化支援事業
「自律的自動運転の実現を支える人工知能搭載システムの安全性立証技術の研究開発」



中小企業庁 令和4年度 成長型中小企業等研究開発支援事業（事業継続中）
「機械の潜在能力を持続的に向上させる共進化（Co-evolution）ガイドラインの研究開発」

WITZの優位性

半歩先の技術で世界を変革

最先端技術を社会に届ける仕組みを、実現可能な方法論をもって研究開発。事業として成立させるための社会需要の変化をとらえ続けます。

提供価値

未知の課題への道しるべ

AIシステムの持続可能な安全・安心を制御するガイドライン（指南書）を提供。専門家による相談で、顧客の未知を解決に導くソリューションを提供。

DXの日常化

仮想空間技術をパッケージした「WARXSS®」および「SF Twin™」



2023年5月24日 当社IR発表

「経済産業省・国土交通省の「RoAD to the L4 (*1)」において活用されました」

(*1) 自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト



2023年4月18日 当社IR発表

「製造業DXを支援するデジタルツインソリューション「SF Twin™ Cobot」販売開始」

WITZの優位性

半歩先の技術で価値を提供

社会需要（ニーズ）を的確に収集し、誰にでも取り扱えるパッケージを提案。速やかに市場に投入できる開発能力と、事業を拡大させる体制を構築済み。

提供価値

圧倒的な時間短縮

顧客自身がDXを推進できる高度技術のパッケージ化
仮想空間上で危険評価環境を実現しコストダウン（従来コストの1/10以下）